

# 小池まさあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

## 9月県議会・一般質問

### 成田空港

### 地域と共に発展を

成田市選出で3期目の小池正昭議員は、9月県議会・一般質問に登壇。成田空港と地域が共に発展する方策、空港へのアクセス、北千葉道路を中心とした道路問題など、なまりを取り巻く課題を鋭くたどりました。その概要をお伝えします。

#### ①成田空港

##### 「新しい成田空港」構想

小池議員 成田空港は、発着容量50万回を実現すべく、世界最先端となる空港づくりを推進して行かねばならない。同時に空港の成長を周辺地域の発展に結びつけるためにまとめた「実施プラン」をもとに、県は空港づくりと地域づくり双方に積極的かつ主体的に関わっていく必要がある。そんな中、空港会社NA

Aは、旅客ターミナルの再構築や近隣地域との体的な発展にも配慮した「新しい成田空港」構想(以下「新構想」)について年度内に定の方針を示すことを明らかにした。そこで何かが「新構想」を、「実施プラン」にどのように活かしていくのか。知事 NAAが策定を進めている「新構想」では、集約型のターミナルや新たな貨物地区の整備、道路や鉄道アクセスの改善等を目指すとして、これを踏まえ、空港アクセスの強化など空港内外において整合のとれたインフラ整備を行うことはもとより、人材の確保や住環境の整備、空港と一体的に機能する物流施設の立地促進などを図ることによって、実施プランに基づく地域づくりの

大規模な物流施設の立地に向けて定の動きが出ていると聞いているので、今後の県の取組に期待している。小池議員 コロナ禍前に空港内で働く人は約4万人だったが、発着容量50万回化により必要となる従業員数は約7万人と推定され、その差3万人をどう確保するかが実施プランでは課題とされていた。そこで何う

一層の充実につなげていくことが重要であると考えております。このため、「新構想」策定段階においても、「地域の発展と空港の発展の好循環」という実施プランの基本的な理念を、NAAや国、関係市町と改めて共有し、「新構想」の策定が空港周辺の地域づくりに活かされるよう取り組んでまいります。



9月県議会・一般質問に登壇した小池正昭議員

## 鉄道アクセスの強化を!!

### ③成田空港の鉄道アクセス

小池議員 成田空港は、国が、羽田空港に代わる我が国の国際基幹空港として位置決定しながら、開港当初から「遠い」「不便」と言われ続け、地元の方は、最重要課題として改善の必要性を強く訴えてきた。

本年7月、運輸総合研究所の有識者検討会は、成田空港の鉄道アクセス改善

に向け提言し、この中で、輸送力増強を図るため、空港近傍の単線区間の課題解決、都心側での輸送力向上策が必要であり、国等の参画を得て改善に向けた更なる検討が進むことを期待する、と記されている。

特に単線区間の問題は、輸送力増強と到達性向上のためにも解決しなければならない。

そこで何うが、この「提言」について、県の認識はどうか。

#### 現行では対応できず

総合企画部長 提言では、現在の鉄道施設のままで、50万回時の鉄道需要に対応しきれず、単線区間の解消や空港駅ホームの拡充など、周辺部や空港内における抜本的な鉄道施設整備が必要になるとされています。

鉄道施設の整備は、供用

## 連携して人材確保

### ②成田空港

#### 「実施プラン」の見直し

小池議員 現在の「実施プラン」を見ると、具体性に欠ける点もあるが、実施プラン見直しの予定は

どうか。総合企画部長 実施プランは、空港を取り巻く環境の変化に応じて見直しを行う、いわば「成長するプラン」としてありますが、「新構想」の策定は、まさしく大きな動きなので、しっかりと整合を図ることが、重要になると考えています。

「新構想」の進捗状況も見極め、NAA、地元市町、国等と協議しながら、プランの具体的な見直しをしまりたいと考えています。実施プランの見直しをしっかりと進めるようお願いいたします。また、昨年1月に内閣府に申請した国家戦略特区についても、強化を地域の活性化につなげるためには、県内各地と空港を結ぶ鉄道アクセスの充実が重要であり、鉄道事業者等と協力しながら、空港利用者や事業者の目線に立った利便性向上に努めてまいります。

与し、県全体の発展にもつながるので、引き続き県の交通政策の柱に位置付けて対応するよう強く要望する。鉄道アクセスの改善に向けての有識者検討会の中でも、①20分台を目指すべきだ②スカイライナーの最高速度200km運転を実現すべきだとの記述がある。本当に実現できるのか、という意見もあるが、そういう将来を指し、県としても認識を共有してしっかりと実現の方向性を探ってもらいたい。

けた人材確保について、県はどう考えているか。知事 人材確保にあたっては、空港で働く従業員のニーズに合わせた住宅や通勤環境の整備だけではなく、空港関連産業に求められる多様な人材のマッチングや、若い世代へのキャリア教育充実など効果的な取組を幅広く進める必要があります。県も、必要な人材が確保できるよう、関係機関と緊密に連携して取り組んでまいります。

#### 要望

答弁では人材確保が如何に大きな問題かという認識も示されたので、広域自治体である県からこそ担うべき施策として、引き続き対応していただきたい。また若い世代へのキャリア教育の充実だが、既に民間企業が航空関連体験を実施しており、成田空港は人材の育成拠点となる可能性を秘めているという。県としても日本最大の国際空港という利点を活かした取組を関係機関・企業と連携して推進するよう要望する。



# 明確な「国際戦略」急務



自席から質問する小池正昭議員

**④国際戦略**  
**国際的な環境変化**  
小池議員 「成田空港の更なる機能強化」が進む中で、世界の情勢変化が本県の経済や生活に大きく影響していることを考えれば、常に世界的な視野を持つた政策の展開を意識する必要がある。そこで何う。

要がある。そこで何う。本県をめぐる国際的な環境変化をどう捉えているか。総合企画部長 国際情勢の変化により、人流の停滞や、食糧・燃料の価格高騰、人道上の問題など、世界は、経済的にも社会的にも大きな影響を受け、不安

定さを増しています。本県においても、成田空港の国際線利用客の大幅な減少は、県内の観光の落ち込みや空港関連産業における雇用減少を生み、燃料や原材料の高騰は製造業や農林水産業など様々な産業に大きな影響を与えています。このように、成田空港や千葉港などを擁する本県は、総じて、人、モノの流れなどの国際的な変化の影響を直接的に受けやすい傾向にあると考えられます。国際的な施策展開 世界との結節点を有する千葉県として、国際的な施策を展開するための方向性を明確にするべきと考えるが、どうか。総合企画部長 本県には、豊かな自然環境や農林水産の事業化や京葉臨海コンビナートにおける水素の活用など、持続的な社会を先導するような様々な取組が進められているところで、このような本県の強みを活かしつつ、世界の潮流を本県の成長につなげるための戦略的な方策を明確にすべく、さらに検討を深めてまいります。

# 開通待たれる「北千葉道路」

## ⑤道路行政

### 重要な北千葉道路

小池議員 成田空港の道路アクセス向上と沿線地域の交通円滑化、また災害時などの輸送路として機能する北千葉道路は、本県はもとより、首都圏全体でも大変重要な道路である。全長約43kmのうち、鎌ヶ谷市から成田市押畑間の約30kmについては、一部暫定2車線ながら既に供用され、残る西側区間の外環道市川、船橋間の15kmと、東側の千葉県施行区間の成田市内3・7kmの開通が待たれる。西側区間では、昨年1月

に都市計画決定手続きが完了したが、東側の成田市区域では、成田市押畑までの暫定開通により、国道408号線や土屋交差点の渋滞が激しくなっている。この解消には、北千葉道路を早期に空港方面に延伸させる必要があるが、①鉄道に近接した工事である②複線化事業の検討が始まっている③計画自体に影響が出ることも予想され、ルートや構造の見直しも必要になるのではないかと懸念される。そこで何う。成田市押畑 大山の進捗 北千葉道路の成田市押畑

から大山間の進捗はどうか。県土整備部長 北千葉道路の当該区間の3・7kmでは、現在、橋梁工事や道路改良工事を進めております。一方、工事着手後に、軟弱地盤に対して新たな対策工事の検討を求められたこと等から、解決に時間を要しています。今後、鉄道事業者との協議を完了させ、工程を調整して施工可能な箇所から順次工事を進め、早期完成に向け努めてまいります。北千葉道路は、令和12年度の開通開始という目標を先送りすることなく、鋭意事業を進めて成田市土屋交差点の渋滞については問題意識を強く持ち、でき得る対応策の検討と実施を要望する。鉄道複線化の影響 北千葉道路の成田市区域に与える影響はどうか。県土整備部長 北千葉

## ⑦食肉センター

### 食肉センター再編の検討

食肉センターの再編に向けて、どのように検討を進めているのか。

農林水産部長 県内食肉センターの将来のあり方については、千葉県食肉流通協議会において、検討を重ね、その結果、食肉セン

## 食肉センター再編 新法人を設立

1の統合を進めるとともに、運営主体の一元化を目指すことで合意し、本年6月に、各食肉センターの出資により、その核となる新規法人が設立されたところです。今後は、食肉センターの統合と運営主体の一元化について、協議会の場で検討を進めてまいります。

**⑥教育問題**  
**県立高校改革に実施案**  
小池議員 本年3月に策定された県立高校改革推進プランだが、重点事項として①全ての高校の魅力化と学びの改革②キャリア教育と職業教育の充実③学校間連携④戦略的な広報といふ4点が挙げられ、本年7月、最初の「第1次実施プログラム(案)」(以下「プログラム案」)が示された。その内容は、既存コースの拡充に加え、社会のニーズを踏まえた新コースの設置などが追加されている。そこで何うが、これまでの高校再編の検証を「プログラム案」にどう反映しているのか。教育長 コース等の再編を行った学校では、初めて卒業生を出す際に評価を実施した後も、対象校の校長との面談などにより随時状

## 見えない高校再編評価

内容には、既存コースの拡充に加え、社会のニーズを踏まえた新コースの設置などが追加されている。そこで何うが、これまでの高校再編の検証を「プログラム案」にどう反映しているのか。教育長 コース等の再編を行った学校では、初めて卒業生を出す際に評価を実施した後も、対象校の校長との面談などにより随時状

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

# 小池まさあき 県事務所

〒286-0025 成田市東町155-3 TEL 0476(22)0688

●メールもお気軽にご利用下さい。 koike@ngy.3web.ne.jp